

合併10周年記念企画展

利根川に架けた悲願のプロジェクト

芽吹大橋物語

芽吹大橋の上を、いろいろな車や人が南から北へ、北から南へと通っているが、いつの間にか、この橋を渡る人々は、この橋がここにあるのは当たり前なことと思うに違いない。人々は、この橋がなかった頃、不便であった時代も忘れ去るであろう。環境に慣れるということは、そういうものであるし、また、それでいいのかも知れない。が、この架橋が成功に至るまでの歳月は、いかに長かったか、その間に費やされた苦労が、いかに大きかったか、悲願実現のため奔走した人々が多くいたことを世に伝えることも必要であろう。

「芽吹大橋の歴史」序文より



平成27年

3月21日土→5月31日日

【開館時間】 平日 AM10:00～PM6:30 土・日・祝 AM10:00～PM5:00

【休館日】 月曜日(祝日は開館しています)、祝日の翌日

入場無料

芽吹大橋物語



芽吹大橋建設工事の様子



橋がなかった頃、人や自動車を対岸へ運んだ小山の渡し



芽吹大橋開通式でのテープカット



開通式に集まった地元住民による歓喜の旗行列



有料橋だった芽吹大橋に設けられた料金所

苦難の末、想いは芽吹く
——その橋は「現在」につながっている



現在の芽吹大橋の空撮（株式会社横河ブリッジ提供）



「芽吹大橋」命名記念で贈呈されたテレビ



開通記念のポスター（野田市立興風図書館所蔵）